



新機能および変更された機能に関する情報

この章の内容は、次のとおりです。

- [このリリースの新規および変更情報, 1 ページ](#)

このリリースの新規および変更情報

次の表では、このコンフィギュレーションガイドでの重要な変更点の概要を示します。この表は、このマニュアルのすべての変更点、または特定のリリースのすべての新機能をまとめたリストではありません。

機能	説明	追加または変更されたリリース	参照先
SVI の VRF メンバーシップの変更のサポート	SVI の VRF メンバーシップの変更のサポートが追加されました。	7.0(3)I4(1)	インターフェイスの VRF メンバーシップの変更
ポートプロファイルの設定	ポートプロファイルのサポートが追加されました。	7.0(3)I4(1)	ポートプロファイル
VXLAN BGP EVPN の設定	VXLAN BGP EVPN の設定のサポートが追加されました。	7.0(3)I4(1)	VXLAN 展開に対する BGP EVPN の考慮事項
VXLAN EVPN ファブリックでの IPv6	VXLAN EVPN ファブリックでの IPv6 のサポートが追加されました。	7.0(3)I4(1)	VXLAN EVPN ファブリックでの IPv6 の概要

機能	説明	追加または変更されたリリース	参照先
IP アンナンバード	IP アンナンバードコマンドのサポートが追加されました。	7.0(3)I3(1)	IP アンナンバードイーサネットインターフェイスでのIPアンナンバードの設定
イーサネットインターフェイスの設定に関するガイドライン	イーサネットインターフェイスの設定に関する追加のガイドラインです。	7.0(3)I2(1)	イーサネットインターフェイスの設定に関するガイドライン
VXLAN マルチキャストカプセル化パス上の重複ポート	VXLAN マルチキャストカプセル化パスは、vPC ピアのリロード後に重複したポートを持ちます。	7.0(3)I2(1)	VXLAN 導入に関するvPC の注意事項と制約事項
portmode を QSFP から SFP+に変更する場合のインターフェイスブレイクアウトの設定	portmode を QSFP から SFP+に変更する場合のインターフェイスブレイクアウトの設定に関する追加情報です。	7.0(3)I2(1)	QSFP ポートと SFP+ ポートの切り替え
QSFP ポートでのブレイクアウトの設定に関する running-config の出力の更新	speed 10000 を使用して QSFP ポートでブレイクアウトを設定すると、running-config の出力に interface breakout module module number port port range map 10g-4x が追加されます。	7.0(3)I2(1)	ブレイクアウト 10ギガビットインターフェイス速度ポートの設定
CLI コマンドの sh vpc brief の出力の更新	CLI コマンドの sh vpc brief の出力に、Delay-restore status と Delay-restore SVI status の 2 つの追加のフィールドが表示されます。	7.0(3)I2(1)	VRF に関する注意事項と制約事項 VLAN ごとの整合性ステータスの表示 グレースフル タイプ 1 検査ステータスの表示 インターフェイス別タイプ 1 不整合の表示

機能	説明	追加または変更されたリリース	参照先
LACP 最小リンクのサポート	サポートされる LACP 最小リンクの最大値は 16 です。	7.0(3)I2(1)	LACP ポート チャネルの MinLink の設定
ポートを 4x10G モードにブレイクアウトまたは 40G モードにブレイクインするとブレイクアウトポートが管理上有効な状態になる	ポートを 4x10G モードにブレイクアウトするか 40G モードにブレイクインすると、ブレイクアウトポートが管理上有効な状態になります。以前のリリースからアップグレードする場合は、復元された設定によって、ポートの適切な管理状態の復元が処理されます。	7.0(3)I2(1)	40 ギガビットイーサネットインターフェイスの速度
設定の削除後、VLAN/SVI がレイヤ 3 インターフェイステーブルから削除されない	設定の削除後、VLAN/SVI はレイヤ 3 インターフェイステーブルから削除されません。VLAN 自体をレイヤ 3 インターフェイステーブルから削除する必要があります。	7.0(3)I2(1)	レイヤ 3 インターフェイスの注意事項および制約事項
ポートの LACP レートの設定	管理上ダウンしているポートでのみ LACP レートを設定できます。	7.0(3)I2(1)	LACP 高速タイマーレートの設定
VXLAN マルチキャストグループの拡張	拡張された環境で使用されるマルチキャストグループと OIFL の合計数を 1024 (マルチキャスト VXLAN VP の現在の範囲) 以外にしないことを推奨します。	7.0(3)I2(1)	VXLAN の注意事項と制約事項

機能	説明	追加または変更されたリリース	参照先
正規表現および送信元インターフェイスコマンド オプション	正規表現および送信元インターフェイスコマンドオプションに関する追加情報です。	7.0(3)I2(1)	イーサネットインターフェイスの設定に関するガイドライン